



※マホータイの情報が見られます
<https://www.orihara.co.jp/top-mahotai/>



取扱説明書

安全で確実な作業をするため、作業前に必ずお読み下さい

水漏れ、噴き出したまま修理

マホータイ オリステープSセット (直管部用)

品番	適用パイプ呼径
MTRS25-5	φ 25迄
MTRS40-5	φ 40迄
MTRS50-5	φ 50迄
MTRS65-5	φ 65迄
MTRS75-5	φ 75迄
MTRS100-5	φ 100迄
MTRS125-5	φ 125迄
MTRS150-5	φ 150迄
MTRS200-5	φ 200迄
MTRS250-5	φ 250迄

内部水圧 0.5MPa (5kg/cm²) 迄
 ※亀裂の場合は、ご相談下さい。

●使用条件

- 保証期限は、アルミバックにシールで表示。(冷暗所で保存して下さい)
- 当製品の使用によって発生した事故や破損については、当製品に欠陥がある場合を除き、一切の責任を負いかねます。また、商品の不良については、商品の交換にてご容赦願います。
- 誤った使用に対しては、一切の責任を負いかねます。
- 水漏れが多い時は、止水できない場合があります。**

●商品構成

品番	マホータイ	オリステープ	手袋
MTRS25-5	MT-205 1ヶ	Sタイプ 25-5 1ヶ	1双
MTRS40-5	MT-205 1ヶ	Sタイプ 40-5 1ヶ	1双
MTRS50-5	MT-205 1ヶ	Sタイプ 50-5 1ヶ	1双
MTRS65-5	MT-309 1ヶ	Sタイプ 65-5 1ヶ	1双
MTRS75-5	MT-309 1ヶ	Sタイプ 75-5 1ヶ	1双
MTRS100-5	MT-415 1ヶ	Sタイプ 100-5 1ヶ	1双
MTRS125-5	MT-420 1ヶ	Sタイプ 125-5 1ヶ	4双
MTRS150-5	MT-430 1ヶ	Sタイプ 150-5 1ヶ	4双
MTRS200-5	MT-430 1ヶ	Sタイプ 200-5 1ヶ	4双
MTRS250-5	MT-440 1ヶ	Sタイプ 250-5 1ヶ	4双

総発売元：株式会社 折原製作所

東京都荒川区西日暮里1-3-3
 TEL 03-5604-0303 FAX 03-5604-0304

●このような作業にお使い下さい

- 配管の水モレを、水が噴き出したまま(圧力が掛かったまま)補修ができます
(注)修理する管の径に合ったものをお使い下さい。
- 鉄管、ステンレス管、銅管、塩ビ管、ポリプロピレン管、ポリエチレン管、鉛管等、幅広く使用できます。

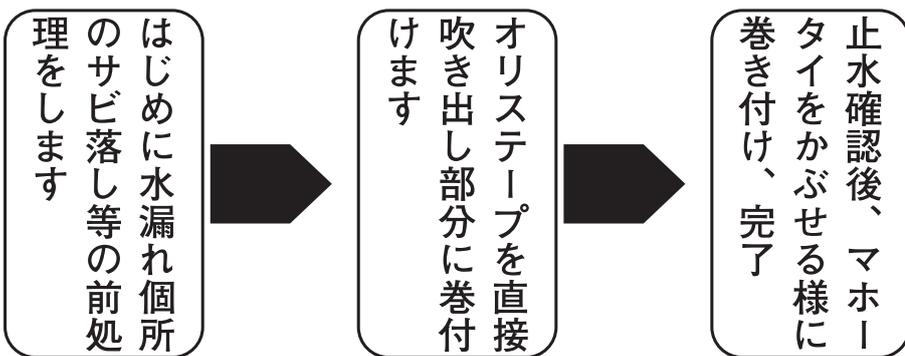
●安全のため必ずお守り下さい

- オリステープを巻くときは、十分注意して下さい。強く引くと止水に効果的ですが、特に体重をかけて引くようなことは止めて下さい。手が滑ったり、バランスをくずして、周囲の物にぶつかったり、転倒してけがをする危険があります。
- マホータイは、素手で触ったり、肌や目に**直接触れない**ようにして下さい。作業の際は、付属の手袋を必ず着用して下さい。【マホータイに浸み込ませた樹脂が皮膚に付着すると、「かゆみ」や「肌荒れ」を起こすことがあります。また付着した樹脂がいったん硬化すると、大変取りにくくなります。】
- もし万が一直接触れた場合は、すぐ**アルコールで拭く**か、**石鹼で5分以上水洗い**をして下さい。また、もし異常がある場合は、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- マホータイの樹脂が付着した工具類は、マホータイを巻いた後すぐに、**アルコール又はアセトンで拭き取**って下さい。

●製品の取り扱いについて

- マホータイは、**巻き付ける段階まで開封しない**で下さい。(水が硬化剤の役をしますので、空気に触れただけでも湿気で硬化します)また、**一回の作業で全部使い切**って下さい。(いったん硬化が始まると固まってしまいます。)

●作業の大まかな流れ



●作業に必要なもの

- ・バケツ等水が1ℓ位入る容器
- ・ウェス(雑巾)
- ・サビ落とし用ヤスリ
(必要に応じて用意)
- ・新聞紙(必要に応じて用意)

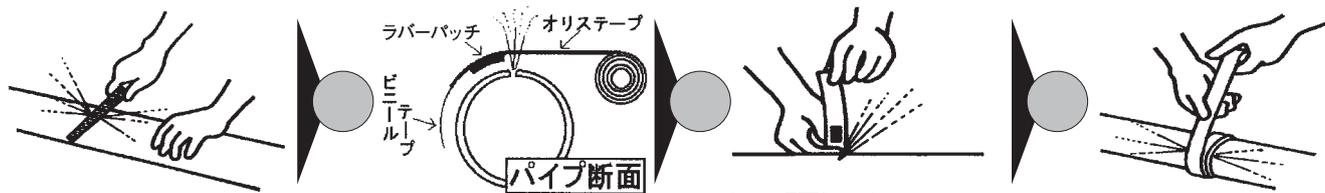
●耐熱温度/作業温度

- ・耐熱温度:50℃(ラバーパッチ)
- ・作業温度:0℃以上

●作業手順



※作業手順が動画で見られます
<https://www.ori-hara.co.jp/top-mahotai/>



1 水漏れ個所を中心に、左右10cm幅の範囲で汚れを落とします。また、サビはヤスリや金ブラシ等で、できるだけ、管の地肌がでるまで、削り落とします。

○オリステープを取り出し貼ってあるシールの「取出口(→)」をはがして、巻き始めの部分(はく離紙が付いたビニールテープ)を出します。

2 ビニールテープ裏側のはく離紙をはがし、ビニールテープに続くゴムテープ部内側のラバーパッチを出します。

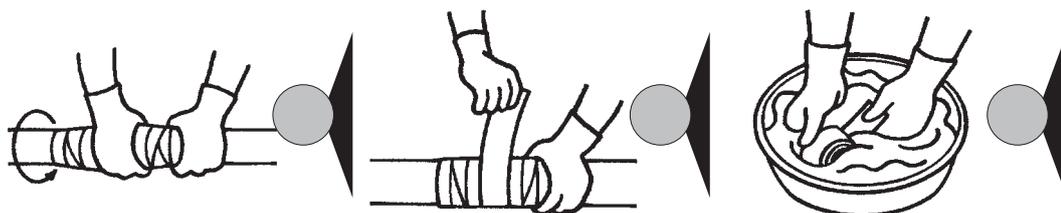
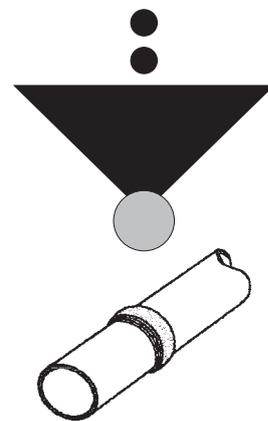
○ブチルゴムが水の吹き出し部に当たるよう位置合わせをし、その位置でビニールテープをパイプに、しっかり巻き付けます。

3 もう一度、ラバーパッチが水漏れ個所に当たるか確かめます。水漏れ個所にブチルゴムが当たらない場合は、始めからやり直して、必ず、ブチルゴムが当たるようにして下さい。

確認ができたなら、ブチルゴムを水漏れ個所に、一気に当てて、オリステープを巻き始めます。

4 オリステープを十分に伸ばして、ゆっくりと、同じ場所に巻き重ねます。

伸ばしたオリステープが戻ろうとする力で、最後には必ず水は止まります。オリステープが戻らないように、あわてず、着実に巻いて下さい。



8 巻き終わったら、巻き方向に、約1分間なでつけるように、絞り込んで下さい。(内部の樹脂の一体化を促し、強度が増します)この時、手袋に水をつけると巻き易くなります。

○以上で作業は完了です。
 参考：マホータイの硬化時間は30分以上です。(アルミバック貼付シール参照)

7 マホータイを水から取り出し、すでに巻いたゴムテープを包むように巻いていきます。マホータイは、平均的に3~4周を目安に、緩まない程度に、巻いていきます。

凹凸などで、マホータイの片側がたるむような場合は、マホータイを、ひとひねりねじって、締め付けます。

6 止水ができたら次に付属の手袋を着用し、アルミバックの中からマホータイを取り出し、用意した水に10秒位浸して下さい。マホータイ内部に、水が均一に浸みわたるように、軽くもみます。(この時中から気泡がでます。)

5 オリステープの巻き終りに、戻り防止用のビニールテープが出てきます。力を弛めず、そのまま巻いて固定します。

○乾いたウェス等で、補修個所の水分を拭き取り、確実に止水したことを確認して下さい。

○万が一漏れが止まらない時は、もう一度「2」からやり直して下さい。